

つながりを大事にし、台湾やシンガポールから、白石城を中心としたサムライ文化のほか、桜や紅葉、雪などの自然やサイクリングなどのアクティビティを目的とした誘客に取り組んでいきたい。

また、白石市観光大使「佐藤三兄弟」の協力による誘客施策も検討していきたいと考えている。

土木費

◎公園施設長寿命化対策工事

【質疑】改修工事のスケジュールおよび利用できない期間が発生するのか、その場合の対応は。

【答弁】工事期間は公園ごとに4カ月程度、利用者が減少する秋以降の実施を予定している。また、トイレを除く範囲を立ち入り禁止とする予定である。

各公園の工事期間が決まり次第、事前に近隣自治会や小学校、保育園等へ周知を行う

とともに、市公式ホームページや現場においても知らせていく。

教育費

◎地区公民館運営事業

【質疑】公民館指定管理者委託料の増額理由および地区への効果は。

【答弁】事務局員人員を1.5人体制から2人体制に見直すよう要望書があり、今回の増額はその人員増に見合った賃金や社会保険料相当額を積み上げたものである。

地区によって状況や課題はさまざまだが、この増額分ですべてに充てるなど、地区の目指すところに応じて計画を立てていきたい。各地区それぞれの独自性を尊重し、これまで以上に自分たちの地区をどのようにしていくのかを考える契機になることを期待している。

特別会計

国民健康保険事業

【質疑】宮城県が国民健康保険料(税)水準の統一としている令和12年までに、再度税率の値上げはあるのか、今後の見通しの認識は。

【答弁】将来の税率は、今後の基金残高や医療費の動向に加え、国・県からの公費負担、県が示す納付金や標準保険料率、被保険者の所得状況、令和12年度の保険料水準の統一を見据えた県の動向等を総合的に勘案し、慎重に議論を重ねていくこととしている。

市は令和6年10月に策定した「白石市国民健康保険財政の健全化に向けた方針2.0」に基づき、今後も持続可能な国民健康保険財政の運営に努めていく。

公営企業会計

水道事業

【質疑】他市町の基本料金より

高くなった経緯は。

【答弁】仙南・仙塩・広域水道は8市9町合計17市町で構成されている。基本料金は昭和63年8月に定めた最終水量を基準に算定したもので「当時の計画水量」に基づき負担割合が設定され、現在の需給水量とは大きく乖離し、受水市町ごとに負担の公平性が損なわれている要因となっている。

意見書

定例会最終日(3月6日)、議員提案として次の意見書が上程された。採決の結果、全会一致で可決され、意見書は関係機関に提出された。

◎宮城県南・仙塩・広域水道の負担割合見直しを求める意見書(概要)

水道事業は人口減少に伴い料金収益が減少する一方、施設の維持管理費は増大し、厳しい事業運営が続いている。本市は持続的な事業運営に向け

た取り組みを進めているが、広域水道の受水費は大きな負担となっている。

基本料金は昭和63年に算定したものに、基づき負担割合が設定され、現在に至るまで据え置かれているため、現在の需給水量とは大きく乖離した状態に即さないものとなり、同じ広域水道を利用しながら市町ごとに公平性が損なわれている要因となっている。本市は次の時代に向けた「新しい計画水量」による負担に移行するべきと考える。

よって、各受水市町の使用実態を適切に反映し、負担の公平性が確保される料金体系を構築することなど三つの項目の実施について、意見書を提出するものである。

